

2008年度交換留学生バディ募集要項

応募受付期間:2007年12月3日(月)～ 2008年1月25日(金)

対象者 :2007年度生以上/2008年3月26日(水)実施のバディオリエンテーションに必ず出席できる方

応募方法:バディ登録用紙に必要事項を記入、顔写真を添付の上国際交流センターに提出し、バディ登録をする。

※登録用紙は、国際交流センターHP(http://www.meijigakuin.ac.jp/office/cice/buddy_apply.html)からダウンロードすることができます。また、各校地国際交流センターでも配布しています。

- * バディは登録制です。登録者の中から適性或語学力を考慮して、国際交流センターがバディ担当時期や担当する留学生を決定します。
- * 登録期間中(1年間)の間に、登録者全員がバディ担当できるよう極力配慮いたしますが、登録バディの人数が多い場合は、個人担当バディをお願いできない場合もあります。あらかじめご了承ください。
- * 個人担当は複数で1人の留学生を担当する場合があります。
- * バディ登録の有効期間は1年です。従って、2007年度バディ登録をし、2008年度引き続きバディをしたい人も改めて登録しなおす必要があります。

【注意事項】

日本で学ぶ留学生を支えたい、力になりたいという熱意および責任感のある方の応募をお待ちしています。

自分の語学能力向上だけを目的とする方・特定の言語圏出身の留学生のバディにのみ興味があるという方はご遠慮ください。

【バディオリエンテーション】

日程:2008年3月26日(水) 午前10時30分-12時

場所:白金校舎:未定、横浜校舎:未定

(2008年度在籍する校舎の会場にて出席してください)

*オリエンテーションの教室は決まり次第ポートヘボンにてお知らせいたします。

*担当についてはオリエンテーションにて発表します。

*今後の予定

UC 交換留学生 バディ顔合わせ: 2008年4月3日(木)午後 横浜校舎にて

ISP 交換学生 バディ顔合わせ: 2008年4月4日(金)午後 白金校舎にて

※ 担当はまだ未定ですが、個人担当バディに割り当てられた方は必ず出席しなければなりません。

*短期留学生バディ募集は下記により別途お知らせします

ホープカレッジメイトームプログラムバディ:ポートヘボンならびに白金通信4月号

崇實大学校夏期日本語プログラムバディ:ポートヘボンならびに白金通信7月号

バディとは？

☆☆ バディの役割と目的 ☆☆

明治学院大学のキャンパスにおいて学友として、明治学院での勉強のことについて、日本での生活について留学生が困ったり悩んだりしているときに相談にのったり、日本での学生生活を楽しく過ごせるようお手伝いする留学生のサポーターです。バディにとっても貴重な国際交流の機会なので、充実した経験になるよう工夫しがんばってください。

☆☆ 具体的な活動内容 ☆☆

① 個人担当（1人の留学生を担当する）

*** UC 交換留学生: 横浜校舎在籍生がバディを担当**

ISP 交換留学生: 白金校舎在籍生が担当バディを担当

- ・ 留学生の質問に答える

例: 東京駅にはどうやって行くの? いい美容院を知っている?

- ・ 留学生をサポートする

例: 日本語の簡単な意味を教える。病院に付き添う。旅行の申込みを手伝う。ホームシックになった留学生を力づける。

- ・ 留学生の一人の友人として親交を深めたり、友達作りの掛け橋になる。

例: 一緒に昼食を摂る。放課後や休日に遊びに行く。ほかの友達を紹介したり、家に招いたりする

※正規留学生には個人担当バディはつきません。しかし、国際交流イベントなどに多くの正規留学生が参加しますので、積極的に交流をもってください。

【注意点】

* 自分の語学力の向上だけでなく、留学生の日本語力向上も考えること

* 留学生とこまめにコンタクトをとること

* 国際交流センターとの連絡を心がけること(特に問題が起こった場合)

* 国際交流センターからの連絡は掲示で行うので、よくチェックすること

* 留学生の家や寮に招かれた際、絶対に大声で騒がないこと。特に交換留学生宿舎は閑静な住宅街にあるため、夜間は多少の声でも響き近所から苦情が来ることがある

* 留学生行事(各種オリエンテーション等)の補助を依頼されることもある

* ボランティアなので費用面の補助はなし。サポートを依頼されても(例: 東京ディズニーランドに一緒に行ってほしい等)、費用面で負担が大きいと感じればその旨を正直に留学生に伝え、理解を得ること

② 行事企画担当(国際交流センター主催親睦行事の企画・運営等)

- ・ 国際交流センター主催行事の企画・運営を自分達で行う

・ 具体的には企画バディで定期的にミーティングを開き、行事内容を決定し(企画書を作成し)、国際交流センターと連絡を取り合いながら、ポスター作製や買出に行くなどして、行事を実施する。実施後は反省会を開き、報告書を作成する

- ・ 国際交流茶話会: 年 4 回、国際交流ツアー: 年 2 回 他

- ・ その他、バディと留学生のニーズに合う自主的な行事の企画・運営等

☆☆ 本学に在籍する留学生について ☆☆

・正規留学生(白金校舎 約 50 名・横浜校舎 約 100 名):

※正規留学生担当のバディ制度はありませんが、国際交流イベントで知り合う機会も多くあります。彼らのバックグラウンドをよく理解しておきましょう。

学位取得を目指し、皆さんとともに 4 年間通常の科目を履修する最も身近な留学生。日本語のコミュニケーションにはほぼ問題がない。

- ・出身国: 中国、韓国、台湾 等
 - ・日本語力: ほぼ日本語に問題はないが、文章チェック等を頼まれたりすることもある。
 - ・住居: 正規留学生用宿舎はないので、多くの学生が民間アパート等に入居している公立の留学生舎や企業の社員寮に入居している学生もいる。
 - ・その他: 学生の多くは日本での留學生活のために、勉強の合間にアルバイトをしている。
明学入学以前に日本語学校や母国の大学に通ってきた学生が多くいる。
- *留学生は 4 年間在学するが、バディの任期は 2008 年度の 1 年間とする。

・協定校からの交換留学生(春学期/約 45 名・秋学期/約 45 名)

※バディが担当するのは、以下の交換留学生です。在籍校地によって①②の担当に分かれます。

① UC プログラム (Global Studies Program)

協定校であるカリフォルニア大学(UC)学生用プログラムに参加する留学生。国際学部にも所属し横浜校舎で勉強する。

- ・滞在期間: ① 春学期(4月～7月)、② 秋学期(9月～12月下旬)
- ・出身国: 主にアメリカ(アジア系の学生も多い)
- ・日本語力: 日本語が出来る学生は少ない。日本語の授業の履修は任意。読み・書き・会話、生活面などへの助言を必要とする。
- ・住居: 戸塚駅そばの交換留学生宿舎に入居している。長期ホームステイをする学生もいる。

② ISP(International Student Program)

本学の留学生用プログラムに参加する、UC 以外の協定校からの留学生。日本語の授業は必修で、その他英語で行われる日本関係科目などを履修する。日本語力のある学生は一般開講科目を履修することもある。専攻により各学部にも所属する。

- ・滞在期間: ① 春学期(4月～7月)、② 春学期・秋学期(4月～1月)
③ 秋学期(9月～1月)、④ 秋学期・春学期(9月～翌年7月)
- ・出身国: 協定校がある国が中心(「国際交流センターガイド」参照)
- ・日本語力: 学生によりかなり差があるが、初級・中級が半々。読み・書き・会話、生活面などの助言を必要とする。
- ・住居: 大田区の交換留学生宿舎に入居している。

*年度をまたがって滞在する留学生(滞在期間④)の担当バディの任期は 2008 年度の 1 年間とする。